

今回から十二回シリーズで国民健康保険(国保)に関する制度の内容を掲載することになりました。市民の皆様がこのシリーズで関心を持ち、理解して頂けたら幸いです。今回は、国保の加入と喪失に関して説明します。

### 国民健康保険の制度について

日本国民はすべての方がならぬ健康保険へ加入するよう法律で義務づけられています。ですから職場の健康保険に加入している人を除き、全ての人が国保に加入しなくてはなりません。皆さんで支え合う制度です。



このような時は国保への届出が必要です。

#### \* 国保に加入するとき

- 1 他の市町村から転入してきたとき
- 2 職場の健康保険をやめたとき
- 3 国保加入世帯で子供が産まれたとき
- 4 生活保護を受けなくなったとき

#### \* 国保をやめるとき

- 1 他の市町村へ転出するとき
- 2 職場の健康保険に加入したとき
- 3 死亡したとき
- 4 生活保護を受けたとき

今回は 国保の給付の内容について掲載します。

### 「子ども虐待」から見えてくるもの

#### ● 聞こえますか? ● 子どもの心の声

【虐待をより早く発見するために】

保護者から子どもへの虐待行為は、子どもの心身に深刻な影響を与えるため、より早く発見して対処することが重要です。そのためには、子どもの日常生活や成長に関わる人たち(例えば近隣や保育所、学校、保健所、医療機関等)が子どもたちの異常(サイン)に早く気づくことが大切です。その主なサインとして次のようなものが挙げられます。

#### こどもの様子

- 身体や衣類等がいつも汚れていたり、季節にそぐわない身なりをしている。
- 身体中に不自然な傷や頻回な傷がある。
- 発達、発育が年齢に比べ遅れている。
- 夜遅くまで外で遊んでいたり徘徊している。
- 家に帰らなくなる。
- 食事(給食等)をむさぼるようにガツガツと食べる。
- 年齢不相応な性的な言葉や性的な行為がある。
- 予防接種や健診を受けていない。
- 歯科治療が全く受けられていない。

#### 親または養育者の様子

- 子どもを残してよく外出している。
- 地域との付き合いを極力避けている。
- 夫婦関係や経済状態に問題がある。(夫婦喧嘩・サラ金・酒などの乱用がある)
- 「子どもが可愛くない」「この子は欲しくなかった」と公言する。
- 子どもに対する愛情や関心が薄い、抱かない・あやさない・無視など。
- 育児に疲れイライラしており、何かと子どもに当たる。
- 母子手帳がないか、又はほとんど記入がない。

☆ 子ども虐待「から見えてくるものは、六回シリーズで掲載しております。

◆ 問い合わせ：宜野湾市児童虐待防止ネットワーク会議  
宜野湾市役所児童家庭課(家庭児童相談室)

☎ 八九三二四四二一 内線(一八〇)



## 市史ってなんねえ〜?

### 茶 ぐわ「ゆんたく」

市民のみなさん、「市史」って耳にしたことがありませんか? シシ(お肉)ではありませんよ。市史とは市の歴史・文化・自然についてまとめた本のことです。この市史を作るには、市民のみなさんからの協力を受け、地域を歩き、テーマによって字の習慣や行事、戦争体験のお話をうかがい、ときには昔の写真なども歴史資料として集めます。幅広い分野を扱い、これをテーマ毎にまとめたのが市史なのです。地域の歴史文化を記録し、理解することは、単に先人達の歩みを残すだけでなく、未来を担う子ども達へのメッセージとなり、これからの宜野湾市を考えるきっかけにもなります。

本市では一九七九年から「宜野湾市史」として編集事業が始まり、現在は戦後の宜野湾市と綱引き行事について調べています。このような事業は、沖縄県内でも各市町村合わせて三〇余の機関で行われています。最近では、字だけで歴史文化を「字誌」としてまとめる動きもあり、人びとの地域への関心の高さが感じられます。

さてこのコーナーでは、毎月街の移り変わりや字の伝統行事、季節の動植物などを紹介します。みなさんのちょっとした茶飲み話の話題にいかがでしょうか。

■ 宜野湾市史「の問い合わせ」  
教育委員会文化課  
☎ 八九三二四四二一

